

山梨県文学館協議会資料

平成27年2月25日(水)

山梨県立文学館

目 次

ページ

<u>山梨県文学館協議会名簿</u>	1
<u>山梨県立文学館活動報告(概要)</u>	2
<u>施設利用状況</u>	3
<u>観覧者数の推移</u>	4
<u>企画展等一覧</u>	6
<u>教育普及事業について</u>	8
<u>資料情報課事業一覧</u>	12
<u>指定管理者活動報告</u>	15

山梨県文学館協議会委員名簿

任期:平成25年9月29日～平成27年9月28日

区分	氏名	役職	出身分野(勤務先等)
委嘱	はやかわ きみひと 早川 公仁	県市町村教育委員会連合会代表	社会教育関係 (笛吹市教育委員長)
"	たかの みちこ 高野 美智子	県社会教育委員代表	社会教育関係 (一社)国際女性教育振興会 業務執行理事))
"	つたき まさきよ 蔦木 雅清	山梨文芸協会事務局次長	学識経験者(山梨文芸協会事務局次長)
"	むこうやまふみと 向山 文人	報道関係	学識経験者(山梨日日新聞社論説委員長)
"	うえまつ ゆうじ 植松 裕二	報道関係	学識経験者(テレビ山梨放送本部・報道制作局長)
"	すずき ひろあき 鈴木 弘亮	報道関係	学識経験者(NHK甲府放送局副局長)
"	いけだ なおたか 池田 尚隆	山梨大学教授	学識経験者
"	こすげ けんいち 小菅 健一	山梨英和大学教授	学識経験者
"	かずの つよし 数野 強	元山梨県教育長	学識経験者
"	あかさか ちせき 赤坂 治績	公募委員	学識経験者
"	うえの みほこ 上野 美穂子	公募委員	家庭教育関係者
"	しみず あやこ 清水 章子	公募委員	家庭教育関係者
"	おとぐる ゆきえ 乙黒 幸江	前中央市立玉穂生涯学習館館長	家庭教育関係者
任命	ふくしま なおみ 福嶋 尚美	県公立小中学校長会代表	学校教育関係(大月市立初狩小学校長)
"	なかごみ とみお 中込 富夫	県高等学校長協会代表	学校教育関係(塩山高等学校長)

山梨県立文学館活動報告（概要）

本館に求められるもの

県民の価値感の多様化・余暇活動の関心の高まりとともに、心の豊かさや生きがいを求めて、文化活動に対する質の向上やニーズも一段と高く、幅広いものとなってきている。このような中、文学に対する知識・教養の向上をはかり、県民文化の発展向上に寄与することを目的として設置されている山梨県立文学館には、次のものが求められている。

【展示／見る】文学史に残る作家と作品を紹介する企画展や特設展と、山梨県出身、ゆかりの文学者を展示する常設展示の一層の充実をはかる。

【教育普及／学ぶ】生涯学習、教育課程における学習など、多様な学習機会の提供、本県における文学、創作活動の充実、発展、その場の提供。

【資料情報／収集・保存・公開】山梨県にゆかりのある作家の作品（資料）を収集保存し、活用する。

【付加価値・魅力／たのしみ】本来の文学館機能に加え、付加価値を充実させ、より魅力ある「憩いの場」の創造と提供。

- 平成27年度は、山梨県立文学館のあるべき姿や求められる姿を考究すべく制定された「基本理念」（平成25年4月1日制定）を自覚し実践するとともに、「雲母」創刊100年を記念した企画展及びそれに併せた俳句大会を実施し、さらに魅力ある展示を実施、解説に力を入れるなど積極的な情報発信を行っていく。

平成26年度の活動

【展示／見る】〈魅力ある展示へ〉

常に新しい資料の常設展と魅力あるテーマの企画展を展開

〈常設展〉年四回春夏秋冬展示替えに加え、次の資料を期間限定公開また夏～冬は特別コーナーを設置

春：林真理子「白蓮れんれん」原稿など 夏：甲州の近世文学より 辻嵐外、五味可都里

秋：山崎方代生誕百年 冬：會津八一 書画・書簡より 秋～3月15日 村岡花子コーナー

第1室 山梨の文学風土（甲斐のうた・甲州の近世文学） 樋口一葉（朗読コーナー）

全国文学館協議会共同展示「村岡花子と関東大震災」（2月7日～3月15日）

第2室 山梨出身ゆかりの文学者たち

井伏鱒二・太宰治・檀一雄・山本周五郎・深沢七郎・山崎方代等 21作家のコーナー

第3室 芥川龍之介 生涯（誕生・少年時代・作家として・晩年）・書画・俳句・山梨との関わり

朗読コーナー

第4室 飯田蛇笏・飯田龍太記念室 生涯と作品

第5室 前期(9月まで) 小説・評論・随筆・翻訳・ジャーナリズム・戯曲・脚本・童話・童謡

後期(3月まで) 詩・短歌・俳句・川柳・漢詩

〈春の企画展〉開館25周年記念企画展「村岡花子展」4月～6月

〈夏の特設展〉開館25周年記念特設展「本のおしゃれ」7月～8月

併設特別コーナー「村岡花子と柳原白蓮」

〈秋の企画展〉開館25周年記念企画展「谷崎潤一郎展 文豪に出会う」9～11月

〈新収蔵品展〉「ペンをもつ 筆をとる」1月～3月

【教育普及／学ぶ・創る】〈文学に親しみ、文学をたのしみ、考える機会の提供〉

社会教育、学校教育と連携をはかりつつ、年間を通じて、文学に触れ、味わい、楽しみ、考えることのできる機会を提供する。

○入門のための文学創作教室〈7月 津島佑子小説教室・10～11月 初心者短歌教室〉

○教員研修（外部共催）〈7月一般教員〉〈11月初任者〉

〈活動内容〉

春の企画展、秋の企画展関連講演会・講演会・講座・教師のための学習会・朗読公演会・文学散歩2回（一般）、子ども映画会・ワークショップ 年間文学講座 名作映画鑑賞 読書会（協力会）お話の森朗読会 チャレンジ文学館 夏休みチャレンジ文学館 ジュニアインターンシップ 文学解説 各種講師派遣事業 移動文学館 リーディングシアター2014 in 文学館

〈第23回やまなし文学賞〉小説・研究評論2部門で実施予定 11月末日締め切り H26年3月初め発表

【資料情報／収集・保存・公開】〈資料の保存と公開〉

・資料を手に取り文学者を身近に感じることができるとの提供

○閲覧室資料紹介・村岡花子と赤毛のアン・名作童話館・村岡花子の世界・谷崎潤一郎の世界・美味礼讃－作家の食卓－

○文学者の誕生日にちなんだ資料紹介・飯田龍太・辻邦生・山崎方代・檀一雄・井伏鱒二

○美術館特別展関連資料紹介－近代文学とミレー－

○書庫見学 6/14（土）：43人 11/20（水・県民の日）：42人 午前・午後各1回

【付加価値魅力／楽しむ】〈魅力ある文学館〉

協力会員による企画展・常設展の解説ボランティアの育成と実施

芸術の森公園アートツアー（SPSやまなし自主事業）ミュージアム甲斐in（会員）募集事業

JR・県観光推進機構との連携等による積極的な広報

平成27年度の活動

【展示／見る】〈魅力ある展示へ〉

常に新しい資料の常設展と魅力あるテーマの企画展を展開

〈常設展〉年四回春夏秋冬展示替えに加え、次の資料を期間限定公開また夏～冬は特別コーナーを設置

春：武田百合子「富士日記」原稿他 夏：若山牧水生誕130年 秋：金子光晴生誕120年・没後40年

冬：秋山秋紅生誕130年

第1室 山梨の文学風土（甲斐のうた・甲州の近世文学） 樋口一葉（朗読コーナー）

第2室 山梨出身ゆかりの文学者たち

井伏鱒二・太宰治・檀一雄・山本周五郎・深沢七郎・山崎方代等 21作家のコーナー

第3室 芥川龍之介 生涯（誕生・少年時代・作家として・晩年）・書画・俳句・山梨との関わり

朗読コーナー

第4室 飯田蛇笏・飯田龍太記念室 生涯と作品

第5室 前期(9月まで) 小説・評論・随筆・翻訳・ジャーナリズム・戯曲・脚本・童話・童謡

後期(3月まで) 詩・短歌・俳句・川柳・漢詩

〈春の特設展〉「田中冬二展 なつかしい日本の風景」4月～6月

〈夏の特設展〉「芥川龍之介の夏休み」7月～8月

〈秋の企画展〉「雲母」創刊100年記念「俳句百景 季節を生きる喜び」9～11月

〈新収蔵品展〉1月～3月

【教育普及／学ぶ・創る】〈文学に親しみ、文学をたのしみ、考える機会の提供〉

社会教育、学校教育と連携をはかりつつ、年間を通じて、文学に触れ、味わい、楽しみ、考えることのできる機会を提供する。

○入門のための文学創作教室〈4月 詩の創作教室・5～6月初心者短歌教室〉

〈活動内容〉

春の特設展、秋の企画展関連事業・朗読公演会・教師のための学習会・文学散歩2回（一般）、子ども映画会・ワークショップ・年間文学講座・名作映画鑑賞会・読書会（協力会）・チャレンジ文学館 夏休みチャレンジ文学館・ジュニアインターンシップ・文学解説・各種講師派遣事業・移動文学館・リーディングシアター2015 in 文学館

〈第24回やまなし文学賞〉小説・研究評論2部門で実施予定 11月末締め切り H28年3月初め発表

【資料情報／収集・保存・公開】〈資料の保存と公開〉

・資料を手に取り文学者を身近に感じることができるとの提供

○閲覧室資料紹介・田中冬二の世界・児童雑誌が描いた戦中・戦後・

やまなしの文学碑散歩 雲母100年に寄せて・映像になった文学作品（仮）

○文学者の誕生日にちなんだ資料紹介・飯田蛇笏・山本周五郎・宮沢賢治・八木義徳・与謝野晶子・深沢七郎・中村星湖

○書庫見学 6/13（土） 11/20（金・県民の日） 午前・午後各1回

【付加価値魅力／楽しむ】〈魅力ある文学館〉

協力会員による企画展・常設展の解説ボランティアの育成と実施

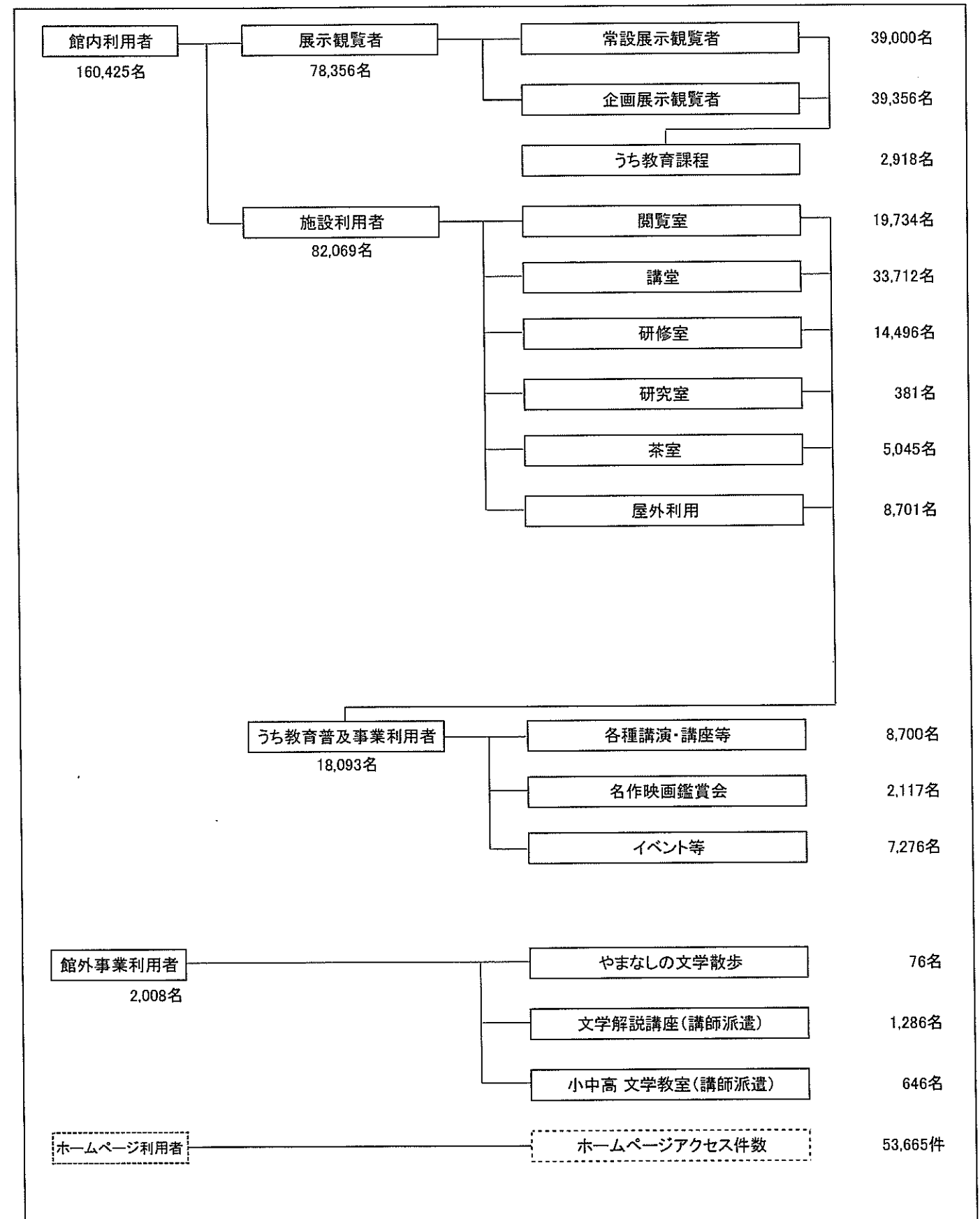
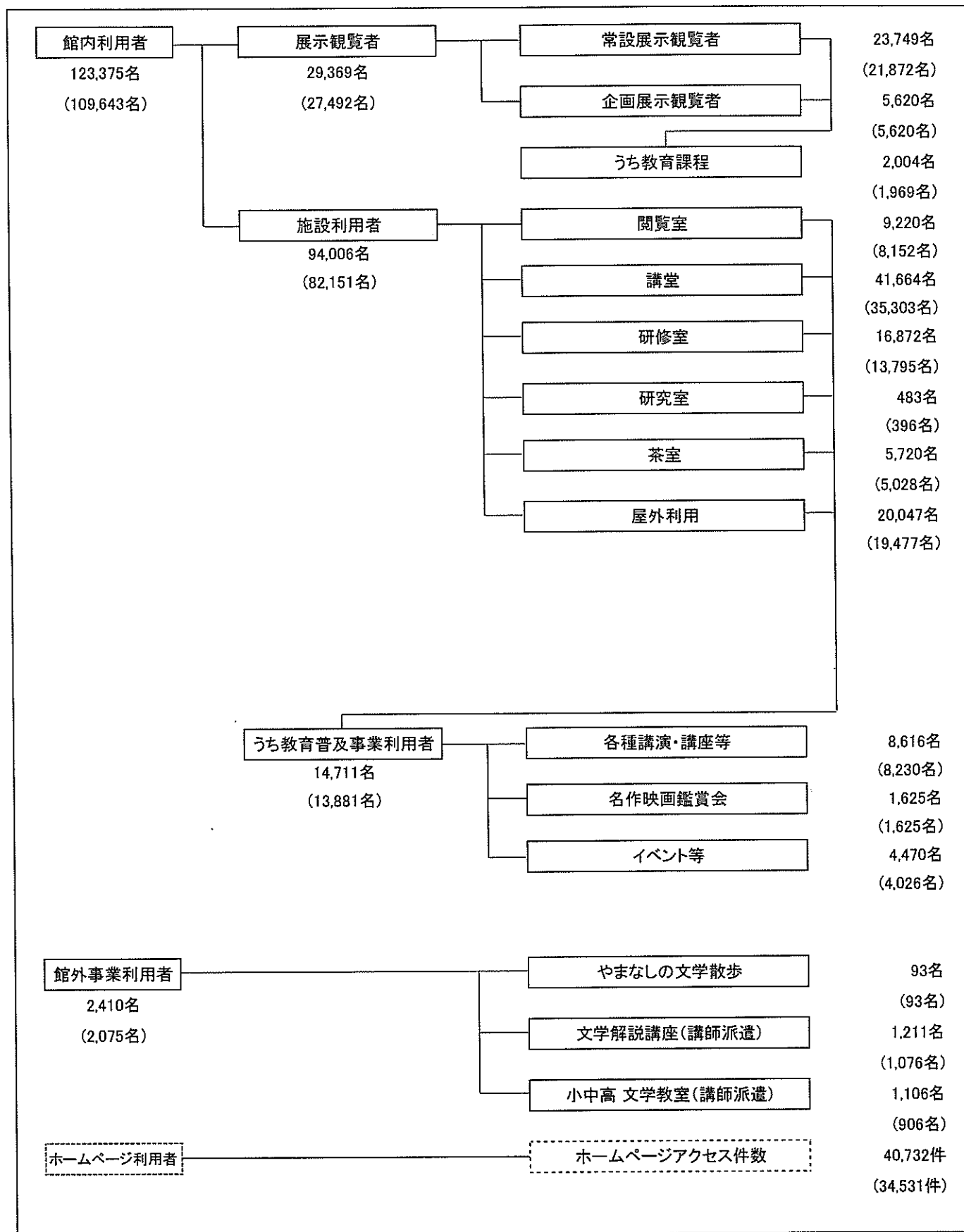
芸術の森公園アートツアー（SPSやまなし自主事業）ミュージアム甲斐in（会員）募集事業

JR・県観光推進機構との連携等による積極的な広報

文学館における「利用者」の状況

平成25年度実績。()内は1月末現在

平成27年1月末現在



○文学館の利用者とは、文学館の施設、提供するサービスを利用した者および文学館の事業・活動に参加したすべての対象者をいいます。

文学館の観覧者数の推移

常設展及び企画展の観覧者の状況は、次のとおりである。

年度	開館日数	常設展観覧者数	企画展観覧者数	合計
H1	34	10,008	42,544	52,552
2	298	79,124	20,233	99,357
3	296	59,616	22,059	81,675
4	292	46,945	21,047	67,992
5	291	41,812	8,271	50,083
6	290	44,279	29,874	74,153
7	294	35,409	14,885	50,294
8	294	31,536	16,804	48,340
9	291	29,730	8,205	37,935
10	293	32,209	15,433	47,642
11	296	20,652	9,832	30,484
12	299	19,258	7,786	27,044
13	225	17,901	10,259	28,160
14	301	19,487	8,805	28,292
15	302	18,641	8,535	27,176
16	302	18,117	12,790	30,907
17	303	15,008	7,232	22,240
18	311	16,084	7,116	23,200
19	311	19,676	9,795	29,471
20	307	14,908	9,416	24,324
21	295	19,374	13,993	33,367
22	307	21,085	17,983	39,068
23	311	17,280	8,371	25,651
24	311	24,660	4,641	29,301
25	306	23,749	5,620	29,369
26	258	39,000	39,356	78,356
計	7,418	735,548	380,885	1,116,433

平成26年度常設展観覧者数

月	開館日数	観覧者数	1日平均
4	27	3,674	136
5	27	6,315	234
6	25	9,358	374
7	27	3,014	112
8	29	9,090	313
9	25	1,972	79
10	29	1,935	67
11	27	2,571	95
12	22	630	29
1	20	441	22
2			
3			
計	258	39,000	151

平成25年度常設展観覧者数

月	開館日数	観覧者数	1日平均
4	26	1,225	47
5	27	2,152	80
6	26	1,522	59
7	26	3,101	119
8	28	6,773	242
9	25	1,484	59
10	28	1,840	66
11	28	2,881	103
12	24	420	18
1	20	474	24
2	22	566	26
3	26	1,311	50
計	306	23,749	78

1月 まで	258	21,872	85
----------	-----	--------	----

前年比 178.3%

観覧者(常設展+企画展+特設展+新収蔵品展)

合計 1,179,372名

特設展観覧者数

年度	特設展名	開催日数	観覧者数	一日平均
H2	山梨と高浜虚子	33	8,785	266
H3	辻嵐外と嵐外十哲	33	8,996	272
	たけくらべの世界	36	10,378	288
	映画と文学	36	9,814	272
	文学者の扇面と年賀状子規がいて、漱石がいて、さうして…	22	2,327	105
H4	新収蔵資料より「近世の俳人 五味可都里と辻嵐外」	48	12,152	253
	佐野四郎の世界—富士見ゆる丘より	54	6,650	123
H5	やまなしの自然と文学	56	6,973	124
	五味可都里と蟹守の周辺	53	8,648	163
	芥川龍之介 草稿の世界	66	8,876	134
	野尻抱影 書簡の世界	51	5,519	108
H6	歌人の手紙	33	4,220	127
H7	やまなし文学賞の受賞者たち	44	3,756	85
	中村星湖への手紙	56	3,324	59
H8	『豹・レオパール』の詩人たち—宮田柁夫資料より—	24	1,861	77
	蛇笏山脈の人—西島麦南・松村蒼石・榎本虎山—	57	3,629	63
H9	芥川龍之介の草稿	55	5,932	107
	村松定孝氏収集	32	1,274	39
H10	児童文学—山梨ゆかりの作家群—	50	3,778	75
	鳴山草平資料	23	757	32
H11	山岳関連名著展—百瀬舜太郎コレクションより—	41	4,202	102
H12	脚本家・菊島隆三と竹内勇太郎	34	2,019	59
	山梨の文芸誌—大正から昭和初期	42	1,068	25
H13	やまなしの児童文芸—「赤い鳥」「金の船」「金の星」「童話」を中心に—	41	2,086	50
	山梨の文芸誌—戦後から現代まで—	41	1,121	27
H14	足立源一郎『日本の山旅』スケッチ画と山の文学	66	4,013	60
H15	山梨の農民文学	38	1,947	51
H16	山崎方代 歌と書の世界	27	2,862	106
H17	山梨のアラガキ派歌人展「伊藤左千夫・三井甲之・神奈桃村・岡千里・日原無限を中心に」	34	1,393	40
H18	「赤毛のアン」の世界へ	33	4,138	125
H19	天空をめぐる物語 宮沢賢治「銀河鉄道の夜」	33	4,100	124
H20	すべての子どもたちへ 芥川龍之介「蜘蛛の糸」	32	2,909	90
H21	H・Cアンデルセン「人魚のお姫さま」—青い瞳の涙—	30	3,027	100
	収蔵名品展（常設展示室リニューアル工事中で常設展観覧料で観覧）	44	3,007	68
H22	くじらぐもからチックタックまで—小学校国語教科書にのった思い出のお話原画展—	31	10,495	338
H23	手紙を書こう 作家の手紙をお手本に	35	2,686	76
	樋口一葉 山梨への手紙	32	2,127	66
H24	フランダースの犬	33	5,034	152
	飯田蛇笏展	53	6,553	123
	文学館至宝展（富士の国やまなし国文祭共催事業）	54	3,490	64
H25	富士山と文学	63	4,549	72
	かいけつゾロリ展	33	8,621	261
H26	本のおしゃれ展（特別コーナー—村岡花子と柳原白蓮）	34	10,309	303
計		1,766	209,405	118

収蔵品展観覧者数

年度	名称	会期	日数	観覧者数
H4	新収蔵品展	H5.3.2~H5.3.24	20	2,831
H6	新収蔵品展	H6.7.23~H6.9.18	49	6,954
H7	新収蔵品展	H8.3.2~H8.3.17	15	1,059
H8	収蔵品展	H9.3.16~H9.4.13	24	2,865
H9	収蔵品展	H10.3.7~H10.4.12	32	12,432
H10	収蔵品展	H11.3.2~H11.3.22	19	870
H11	収蔵品展	H12.3.7~H12.4.2	24	1,093
H12	収蔵品展	H13.3.6~H13.4.1	23	1,044
H13	収蔵品展	H14.3.5~H14.3.31	23	859
H14	収蔵品展	H15.1.2~H15.3.30	75	2,879
H15	収蔵品展	H16.1.2~H16.3.28	74	10,980
H16	収蔵品展	H17.1.2~H17.3.27	72	2,369
H17	収蔵品展	H18.1.17~H17.3.26	60	2,273
H18	収蔵品展	H19.1.16~H19.3.25	60	1,834
H19	収蔵品展	H20.1.22~H20.3.30	60	2,667
H20	収蔵品展	H21.1.20~H21.3.29	59	2,313
H21	収蔵名品展(特設展示として)	H21.12.2~H22.2.28		
H22	収蔵品展	H23.1.19~H23.3.27	59	2,958
H23	収蔵品展	H24.2.2~H24.3.21	43	2,403
H25	新収蔵品展	H26.1.25~H26.3.23	50	1,880
H26	新収蔵品展	H27.1.24~H27.3.22	50	376
				62,939

特設展+収蔵品展 272,344

平成26年度 企画展・特設展など(実績)

	展覧会名	会期	日数	観覧者数	内 容	備 考
1	企画展 「村岡花子展 ことばの虹を架ける ～山梨からアンの世界へ～」	平成26年 4月12日(土) ～ 6月29日(日)	69日間	34,844	山梨県甲府市に生まれた村岡花子(1893～1968)は、こどもたち・少女たちのため、夢に溢れる童話や翻訳小説を世に送り出しました。代表作「赤毛のアン」シリーズは、刊行から60年以上を経た今日もなお、多くの読者に愛されています。一方、佐佐木信綱の門下で短歌を学び、生涯を通じて、折々の思いを詠んだ数々の歌を残しています。村岡花子への関心が高まっている今、波瀾にみちた生涯とその文学の原点をさぐります。	自主企画
2	特設展 「本のおしゃれ」	平成26年 7月19日(土) ～ 8月24日(日)	34日間	10,309人	電子書籍で読書を楽しむ人が増える一方、美しく装幀された本や雑誌が改めて注目を浴びています。夏目漱石『吾輩ハ猫デアル』、泉鏡花『遊里集』、深沢七郎『檜山節考』など、個性豊かに装飾された名著の数々を紹介します。	自主企画 ・常設展の一環として開催。 ・特別コーナー「村岡花子と柳原白蓮」併設。
3	企画展 「谷崎潤一郎展—文豪に会う」	平成26年 9月27日(土) ～ 11月24日(月・振替休日)	54日間	4,512人	明治・大正・昭和にわたり小説を書き続け、「痴人の愛」「春琴抄」「細雪」など現代に読み継がれる名作を残した谷崎潤一郎(1886～1965)。本展では谷崎潤一郎の生涯と豊饒な作品世界に迫り、時代に残した足跡をたどります。 * 自主企画・企画展	自主企画 ・常設展の一環として開催
4	新収蔵品展(仮称)	平成27年 1月24日(土) ～ 3月22日(日)	50日間	人	平成26年度に新たに収蔵した資料を中心に、作家の原稿や書簡など貴重な直筆資料の数々を紹介します。	自主企画 ・観覧料無料で公開

企画展観覧者数

年度	企画展名	開催日数	観覧者数	1日平均
1	山梨の文学	87	42,544	489
2	書簡の文学	51	9,877	194
2	樋口一葉展	33	10,356	314
3	旅の文学	33	4,694	142
3	芥川龍之介展	48	17,365	362
4	与謝野晶子と「明星」	38	9,471	249
4	飯田蛇笏展	56	11,576	207
5	現代の女性作家	42	8,271	197
6	山崎方代展	54	6,020	111
6	中村星湖展	54	5,842	108
6	近代文学とミレー展	51	18,012	353
7	井伏鱒二	68	10,294	151
7	田中冬二展	43	4,591	107
8	宇野千代の世界	33	8,865	269
8	北巨摩の文学	93	7,939	85
9	前田晁・田山花袋・窪田空穂	56	3,448	62
9	現代歌人の宴	56	4,757	85
10	画文交響 飯田蛇笏をめぐる画人たち	55	8,334	152
10	山本周五郎の世界	56	7,099	127
11	やまなし・女性の文学	56	4,586	82
11	山梨の文学-21世紀へ-	91	5,246	58
12	画文交響 明治末期から大正中期へ	56	2,835	51
12	太宰治と檀一雄	56	4,951	88
13	夏目漱石展	57	5,853	103
13	富士百景	54	4,406	82
14	芭蕉展	33	4,297	130
14	松本清張と木々高太郎	56	4,508	81
15	中里介山「大菩薩峠」の世界	57	3,514	62
15	芥川龍之介と菊池寛・久米正雄	56	5,021	90
16	樋口一葉展Ⅰ	44	4,165	95
16	樋口一葉展Ⅱ	55	8,625	157
17	「赤い鳥」と「少年倶楽部」の世界	52	3,090	59
17	山の文学展	56	4,142	74
18	辻邦生展	53	2,902	55
18	正岡子規とその時代	57	4,214	74
19	高村光太郎 いのちと愛の軌跡	53	4,792	90
19	宮沢賢治 若き日の手紙	53	5,003	94
20	芥川龍之介の手紙 敬愛する友 恒藤恭へ	53	3,178	60
20	飯田龍太展	53	6,238	118
21	太宰治展	52	7,544	145
21	樋口一葉と甲州	59	6,449	109
22	山崎方代展	50	3,589	72
22	くじらぐもからチックタックまで-小学校国語教科書にのった思い出のお話原画展-	31	10,495	339
22	井伏鱒二と飯田龍太	53	3,899	74
23	文芸映画のたのしみ	45	4,042	90
23	深沢七郎の文学	47	4,329	92
24	石川啄木	52	4,641	89
25	与謝野晶子展	53	5,620	106
26	村岡花子展	69	34,844	505
26	谷崎潤一郎展	54	4,512	84
	計	2,673	380,885	142

平成27年度 山梨県立文学館企画展・特設展予定

名称	会期	展示内容
特設展 田中冬二展 なつかしい日本の風景	平成27年 4月25日(土) ～ 6月21日(日)	福島県出身の詩人田中冬二(1894～1980)は、日本各地を旅し、やさしく平易なことばで、失われゆく日本の自然や風物をうたいました。山梨県内では早川町の奈良田や、富士北麓、八ヶ岳南麓などを訪れています。館蔵資料を中心に、冬二の詩の魅力を紹介しします。 *常設展の一環として開催
特設展 芥川龍之介の夏休み	平成27年 7月11日(土) ～ 8月23日(日)	プールに通ったり、友人と野山を歩いて徒歩旅行をしたり、少年時代の芥川龍之介が活発に過ごした夏休みの様子を、日記や水泳帽子など館蔵資料を使って、紹介しします。 *常設展の一環として開催
企画展 「雲母」創刊100年記念 俳句百景 季節を生きる喜び	平成27年 9月19日(土) ～ 11月23日(月・祝日)	今年は、飯田蛇笏・龍太が主宰した俳句雑誌「雲母」の創刊から100年を数えます。近代俳句が生んだ名句を、季語をキーワードに見つめなおします。 *自主企画・企画展
新収蔵品展	平成28年 1月23日(土) ～ 3月21日(月)	平成27年度に新たに収蔵した資料を中心に、作家の原稿や書簡など貴重な直筆資料の数々を紹介しします。 *観覧料無料

1 企画展・特設展関連事業

(1) 企画展「村岡花子展」

企画展「村岡花子展」関連事業

月日	事業名・演題	講師	参加人数
4月26日	村岡恵理講演会「村岡花子と甲府」	村岡 恵理 (作家、赤毛のアン記念館・村岡花子文庫主宰)	483
5月5日	赤毛のアン 寄せ植えWS	望月 優 (県立農林高校教諭)	37
5月6日	茂木健一郎講演会「赤毛のアンに学ぶ、脳の力を引き出す方法」	茂木 健一郎 (脳科学者)	470
5月18日	赤毛のアン お料理WS	浅野 公子 (栄養士)	35
5月31日	三枝昂之講演会「をみななれば—村岡花子・短歌の魅力」	三枝 昂之 (当館館長)	420
6月14日	英語劇WS	小口ますみ (英語芸術学校マーブルス代表)	138
6月19日	講座「村岡花子の言葉」	高室 有子 (当館学芸員)	120
6月17日	教師のための学習会	高室 有子 (当館学芸員)	26
合計			1,729

(2) 企画展「谷崎潤一郎展」

企画展「谷崎潤一郎展」関連事業

月日	事業名・演題	講師	参加人数
10月5日	講演会「『細雪』と非常時のことば	高橋源一郎 (作家・明治学院大学教授)	241
10月12日	映画会「細雪」		309
11月3日	講演会「『細雪』の女たち	千葉俊二 (早稲田大学教授)	120
10月9日	講座「谷崎潤一郎と河口湖」	中野和子 (当館学芸員)	109
10月28日	教師のための学習会	中野和子 (当館学芸員)	10
合計			789

2 教育普及事業

(1) 年間文学講座

講師	事業名・演題	月日	参加人数
池田尚隆 (山梨大学教授)	文学講座1 (全8回) 講堂 テーマ「歴史の中の枕草子」 土曜日 14:00~90分	5月17日	174
		6月21日	171
		7月19日	155
		8月16日	119
		9月20日	121
		10月4日	123
		11月15日	112
		12月20日	108
小計			1,083
新保祐司 (文芸評論家・都留文科大学教授)	文学講座2 (全8回) 講堂 テーマ「小林秀雄をめぐる文学者たち」 木曜日 14:00~90分	5月22日	95
		6月26日	93
		7月24日	70
		8月28日	61
		9月25日	73
		10月23日	中止
		11月27日	50
		12月25日	47
1月23日	27		
小計			516
保坂雅子 小俣岳 伊藤夏穂 (当館職員)	文学講座3 (全3回) 研修室 テーマ「山梨の文学」 木曜日 14:00~70分	8月21日	34
		9月11日	35
		1月29日	28
小計			97
合計			1,696

(2) 名作映画館紹介

月日	題名	情報	参加人数
5月25日	(アニメ) 赤毛のアン グリーンゲートルズへの道	原作：モンゴメリ 監督：高畑勲	400
6月29日	秘密の花園	原作：バーネット 総監督：フランシス・フォード・コッポラ	300
8月3日	銀河鉄道999 君は戦士のように生きられるか	原作：松本零士 声の出演：野沢雅子	183
8月24日	長くつをはいたネコ	声の出演：竹中直人	230
9月28日	黒蜥蜴	原作：三島由紀夫 出演：美輪明宏・三島由紀夫	295
10月26日	太平洋ひとりぼっち	原作：堀江謙一 監督：市川崑	150
11月23日	お遊さま	原作：谷崎潤一郎 監督：溝口健二	250
合計			1,808

(3) 朗読講演会

月 日	事業名 演題	講 師	参加人数
6月7日	お話の森	溝口朗読サークル	77
8月17日	お話の森	朗読サークルつばさ	49
11月8日	朗読講演会	深沢敦	189
合計			315

(4) 文学創作教室

月 日	事業名 演題	講 師	参加人数
7月6日	一般・高校生対象 創作教室「文学の場所」	津島佑子 (作家)	102
10月2日	短歌教室 (講義・実作) 「初心者短歌教室」	三枝昂之 (当館館長)	28
10月16日	短歌教室 (講義・実作) 「初心者短歌教室」	三枝昂之 (当館館長)	26
10月30日	短歌教室 (講義・実作) 「初心者短歌教室」	三枝昂之 (当館館長)	26
11月13日	短歌教室 (講義・実作) 「初心者短歌教室」	三枝昂之 (当館館長)	26
合計			208

(5) 子どもワークショップ

月 日	事業名 演題	講 師	参加人数
7月27日	製本ワークショップ	上島明子 (みすず堂)	50
8月6日	江戸の売り声ワークショップ	宮田章司	100
8月9日	からくり屏風ワークショップ	片岡屏風店	57
1月10日	百人一首教室	清水章子 (竜王カルタ会)	63
7月20日	夏休みプロジェクト	普及	400
合計			670

(6) リーディングシアター 12月14日 (日)

参加校	発表テーマ	参加人数
8校10チーム	嵐の夜に 他	207
合計		207

(7) ジュニアインターンシップ・職業体験

月 日	学 校 名	情 報	参加人数
8月5日	山梨大学		2
8月6日	山梨大学		2
8月7日	山梨大学		2
8月8日	山梨大学		2
8月9日	山梨大学		2
8月6日	玉幡中学校		2
8月6日	城南中学校		2
合計			14

(8) 文学解説 (展示解説・視察対応)

月 日	講 座 名	対 象 者	参加人数
4月8日	都留文科大学国文学科オリエンテーション	大学生・引率教授	162
4月12日	福井ふるさと文学館		1
4月12日	ギャラリートーク「村岡花子展」関連	一般	40
4月18日	南アルプス市教育委員会	一般	30
4月26日	上野原中学校	下見	2
5月8日	甲府水晶協会	下見	6
5月8日	明見中学校	下見	1
5月9日	ことぶき勸学院峡東教室	院生	24
5月14日	あたご協会	一般	30
5月16日	ことぶき勸学院峡南教室	下見	1
5月24日	三越バスクラブ	一般	20
5月29日	和の会	一般	14
5月31日	ギャラリートーク	一般	10
6月5日	長野県高井郡老人学級	老人学級	60
6月6日	ことぶき勸学院峡南教室	院生	25
6月7日	昭和町教育委員会	昭和町民	15
6月10日	インドネシアプロモーション	インドネシア旅行下見	6
6月10日	京王バスツアー	旅行団	105
6月11日	埼玉旅行団	下見	2
6月12日	田富町立図書館	図書館利用者	6
6月13日	神奈川近代文学館	文学散歩参加者	40
6月13日	民間放送学園協議会	一般	8
6月17日	ことぶき勸学院北都留教室		20
6月17日	北社市湧水の会	一般	12
6月18日	神奈川近代文学館	文学散歩参加者	40
6月19日	横浜磯子教会	一般	43
6月19日	ギャラリートーク	一般	20
2月21日	土曜会		11
6月25日	神奈川近代文学館	文学散歩参加者	40
6月26日	多摩市文庫連絡協議会	一般	11
7月2日	村岡花子ゆかりの山梨会	一般	13
8月7日	中巨摩教員国語研究会	教職員	20
8月8日	銚子国語サークル	教職員	20
8月20日	朝日旅行一団	一般	32
8月20日	御殿場西高校教員研修	教職員	40
8月21日	ギャラリートーク		20
8月26日	吉祥女子 (淑美会)	一般	40
8月28日	吉祥女子 (祥美会)	会員	100
8月30日	中道地区文化協会	会員	22
10月9日	ギャラリートーク		65
10月16日	相模原公民館文学散歩	会員	50
10月25日	越雲会	会員	19
10月29日	前橋会	会員	27
11月5日	山梨大学学生	学生	15
11月18日	ことぶきOB会	勸学院卒業者	14
12月19日	ことぶき勸学院 (中北教室)	会員	34
1月28日	中央高校	教職員	2
1月29日	ギャラリートーク	年文3参加者	15
合計			1,353

(9) 山梨の文学解説講座 (他会場への講師派遣事業)

月 日	講 座 名	対 象 者	参加人数
4月16日	「村岡花子」の生涯	大月老人さつき学級	20
5月8日	「村岡花子」の生涯	大月老人大学	230
5月25日	「村岡花子」の生涯	甲府穴切地区	60
6月27日	「村岡花子」の生涯	山梨県立大学	25
7月17日	山梨の先人に学ぶ「村岡花子」1	県民	140
7月20日	「村岡花子」の生涯	南部町立図書館	50
8月1日	「翻訳家 村岡花子と甲府」	甲府警察署	130
8月2日	「村岡花子と山梨」	津田塾大学同窓生	20
8月7日	山梨の先人に学ぶ「村岡花子」2	県民	80
9月6日	第14回ふじセッション講演会	富士吉田市民	50
9月28日	視覚障がい者福祉協会講演会	会員	58
9月27日	防災新館記念事業	一般	25
9月28日	長寿会主催研修会	福祉協会	58
11月15日	市民自由講座「富士山と文学」	八王子市民	230
11月20日	県政出張講座	市川三郷町民	40
11月21日	ローズタイムスペシャル講座	御坂町図書館	30
11月23日	文化講演会「村岡花子について」	福祉協会	40
合計			1,286

(10) 小・中・高等学校文学教室 (出前授業)

月 日	講 座 名	対 象 者	参加人数
7月9日	ミニ俳句甲子園	石和中学校	280
10月17日	キャリア教育	甲府西高等学校	25
11月21日	山梨ゆかりの文学者	甲府西高等学校	241
11月22日	道徳「山梨ゆかりの文学者を知らう」	甲府東小学校学校開放	100
合計			646

(11) 小・中・高等学校教育課程対応

月 日	内 容	対 象 者	参加人数
4月15日	県内めぐり	明野中学校	5
4月16日	県内めぐり	白根御勅使中学校	12
4月17日	県内めぐり	増穂中学校	4
4月18日	県内めぐり	玉幡中学校	4
4月23日	校外学習	上野原高校	187
5月9日	校外学習	下部中学校	3
5月10日	校外学習	英和中学校	65
5月13日	県内めぐり	白根巨摩中学校	10
5月14日	県内めぐり	田富中学校	6
5月15日	県内めぐり	韮崎西中学校	12
5月15日	県内めぐり	大月東中学校	7
5月16日	県内めぐり	小淵沢中学校	11
5月16日	県内めぐり	楡形中学校	5
5月17日	県内めぐり	日川高等学校	4
5月17日	県内めぐり	長坂中学校	12
5月20日	県内めぐり	八田中学校	2
5月21日	校外学習	早稲田高等学院	173
5月21日	県内めぐり	上野原中学校	18
5月22日	県内めぐり	双葉中学校	14
5月23日	県内めぐり	明見中学校	4
5月23日	県内めぐり	敷島中学校	30
5月29日	県内めぐり	甲西中学校	3
5月29日	県内めぐり	押原中学校	13
5月29日	県内めぐり	芦安中学校	1
6月5日	校外学習	甲斐清和高等学校	42
6月6日	校外学習	開成中学校	205
6月12日	校外学習	新田小学校6年	41

6月17日	校外学習	新田小学校4年	28
6月18日	校外学習	新田小学校3年	37
6月20日	校外学習	山梨大学附属中学校	12
7月10日	林間学校	国本小学校	115
7月27日	美術部見学	春日居中学校	17
7月30日	美術部見学	甲府東中学校	22
9月10日	校外学習	塩山高校	183
9月20日	校外学習	駿台甲府高校	248
10月10日	校外学習	城西高校	15
10月18日	校外学習	山梨英和中学校	73
10月21日	校外学習	新田小学校(3年生)	31
10月22日	校外学習	新田小学校(5年生)	32
11月6日	校外学習	山梨学院中学校	92
11月12日	校外学習	山梨高校	202
11月12日	校外学習	甲府昭和高校	171
11月13日	校外学習	甲府昭和高校	129
11月18日	校外学習	新田小4年生	24
11月26日	校外学習	三珠中学校	6
12月4日	校外学習	甲府西高等学校	80
12月10日	校外学習	甲府西高等学校	40
12月10日	校外学習	吉田高等学校	33
12月11日	校外学習	甲府西高等学校	80
2月6日	校外学習	新田小学校6年生	40
合計			2,603

(12) 小・中・高等学校移動文学館 (アウトリーチ)

月 日	利用学校名	セット	対象人数
4月24日	境川小学校	B	277
4月24日	中央高等学校	B	406
5月12日	河口湖南中学校	A	670
5月12日	西浜中学校	A	35
6月6日	西浜中学校	B	35
6月6日	富士河口湖高校	B	856
6月7日	湖北中学校	A	115
6月7日	勝山中学校	A	100
7月1日	富士吉田中学校	A	513
7月1日	下吉田中学校	A	561
7月1日	ひばりヶ丘高校	B	145
7月9日	石和中学校	A	741
9月12日	小淵沢中学校	B	159
10月23日	竜王北中学校	A	286
10月28日	里垣小学校	A	309
10月28日	双葉東小学校	A	720
10月28日	双葉西小学校	A	311
10月28日	笛南中学校	B	186
11月14日	増穂小学校	B	652
12月2日	甲府東小学校	B	410
1月28日	上野原西小学校	B	431
1月28日	上野原西中学校	B	254
1月30日	猿橋小学校	A	368
1月30日	猿橋中学校	A	254
合計			8,794

利用教材 A:石川啄木セット B:龍太・蛇笏のちまちな人形セット

(13) 外部共催研修

月 日	企画名	対 象 者	利用人数
7月31日	教育センター共催教員研修	教職員	27
11月21日	平成26年度 初任者研修	教職員	30
合計			57

(14) 各種団体への普及活動

月日	普及内容	対象者	利用人数
6月3日	県下一斉校長会・教頭会	各学校校長・教頭	420
7月7日	教育事務所	事務所員	60
9月19日	高文連	高校教員	50
10月7日	南都留支部校長会	学校長	50
10月7日	笛吹支部校長会	学校長	21
10月14日	甲府支部校長会	学校長	50
10月21日	東山梨支部校長会	学校長	35
11月4日	中巨摩支部校長会	学校長	55
11月4日	高校校長会	学校長	70
11月6日	峡南支部校長会	学校長	40
11月6日	北都留支部校長会	学校長	25
11月6日	北巨摩支部校長会	学校長	30
12月6日	北杜市図書館司書研究会	学校図書館司書	30
合計			936

(15) 協力会読書会

月日	作品	対象者	利用人数
5月11日	辻村深月「鍵のない夢を見る」	協力会会員・一般	9
6月8日	太宰治「ロマン燈籠」	協力会会員・一般	9
7月13日	芥川龍之介「蜘蛛の糸」	協力会会員・一般	10
8月10日	村上春樹・河合隼人「村上春樹、河合隼人に会いに行く」	協力会会員・一般	6
9月7日	池田茂光「山を祭る人々」	協力会会員・一般	14
10月18日	江國香織「号泣する準備はできていた」他	協力会会員・一般	10
11月8日	石川達三「生きている兵隊」	協力会会員・一般	7
12月13日	向田邦子「思いでトランプ」	協力会会員・一般	10
1月24日	林真理子「白蓮れんれん」	協力会会員・一般	11
2月15日	山本周五郎「おさん」	協力会会員・一般	
3月14日	小野正嗣「九年前の祈り」	協力会会員・一般	
			86

3 やまなし文学賞

本賞は、平成4年4月、山梨県にゆかりの深い樋口一葉の生誕120年を記念して制定された。山梨県の文学振興をはかり、日本の文化発展の一助として、小説と、研究・評論の2部門を設けている。

選考委員 小説部門：坂上弘・津島佑子・佐伯一麦

研究・評論部門：菅野昭正・十川信介・兵藤裕己

26年 11月30日 作品締め切り
27年 2月12日、19日 選考会
3月21日 表彰式
6月 小説部門受賞作単行本刊行

4 山梨文学散歩(委託事業)

企画実施 やまなし観光推進機構
委託先 NPO つなぐ
内容 峡南地域の文学散歩

実施日時 平成26年 10月19日(日) 43名
10月25日(土) 33名

平成27年度実施予定教育普及事業の概要

事業名	事業説明
年間文学講座	年間文学講座は平成2年度から実施している。県民の興味・関心に応じて幅広く学べるよう配慮し、テーマ設定に当たっては講師の専門性を生かすとともに、県民のニーズに対応できるように調整する。多くの方が参加できるように、平日のみならず、土・日も開講する。
山梨の文学講座	「山梨の文学講座」は、当館の展示作家を中心に、山梨出身・ゆかりの文学と人についての講座を実施し、当館学芸員が講師を務める。
名作映画鑑賞会	有名な文学作品を映画化した名作の数々を上映し、文学と映画の関わりについて、多くの県民とともに考える企画。平成2年から毎年実施。
朗読鑑賞会	県内外から講師を招聘し、文学作品(詩・小説など)の魅力を読朗によって鑑賞する企画。開館の年から実施し、毎年開催、幅広い年齢の聴衆から大変好評を博している。
山梨文学散歩	16年度から実施している。実行委員会とNPOとの協働事業とし、県内の文学ゆかりの地を訪ねる。コースにあたる市町村の協力を得て開催する。
山梨の文学解説講座	学芸課の職員が、要請された市町村等に関連のある県出身・ゆかりの文学者の人と作品を紹介する講座。要望に応じ当館の研修室・講堂等あるいは市町村等に出向いて講義をする。
博学連携事業	将来の山梨を担うことになる子どもたちに、優れた文学と文学者の存在に気付かせるきっかけを作ることを目的に、学校教育と連携し、事業を実施する。具体的には、文学館作成の指導資料を学校に貸し出す「アウトリーチ」、「出前授業」、「リーディングシアター」、校外学習へのサポート、高校生を対象とした「文学創作教室」「文学散歩」等を実施している。
就業体験(インターンシップ)	子どもたちの職業観・勤労観を、より早い段階から育成するとともに、将来、自らの進路を自分自身で選択できる能力を育てていくことが、今日的課題となっている。文学館としても、中学生・高校生・大学生の職場見学やインターンシップを積極的に受け入れ、若年者の職業意識形成支援に積極的に取り組む。
教師のための学習会開催	県内の小・中・高校・特別支援学校の教師を対象に春と秋の企画展・特設展に関わって、文学館職員による説明と観覧を通して、学校教育への活用を図る。
子どもワークショップ	子どもを対象とした参加型・体験型の教室を開催し、文学を身近に感じてもらう機会とする。各界で活躍する専門家を招くことで、子どもたちの多彩な分野での興味を広げていく。

平成26年度 閲覧室事業

◇閲覧室資料紹介

所蔵資料を紹介・展示することにより、利用者が直接手に取って利用できる資料を増やし、開かれた文学館のイメージの定着と閲覧室の活性化を図る。

また、閲覧室の機能の理解と利用促進および資料収集の推進を図ることを目的とする。

展示名及び概要	展示期間
村岡花子と赤毛のアン 甲府市で生まれた翻訳家、児童文学作家の村岡花子。その著書、翻訳書、生涯に関する資料や、花子によって初めて翻訳され、今も読み継がれる「赤毛のアン」の世界を紹介する。	平成26年4月11日(金) ～ 6月29日(日)
名作童話館 子どもへの愛情や夢あふれる絵本、美しい挿絵の名作童話。夏の特設展「本のおしゃれ」の開催にあわせて、芥川龍之介、宮沢賢治、井伏鱒二、村岡花子などの作品を絵本や童話で紹介する。	平成26年7月19日(土) ～ 8月24日(日)
村岡花子の世界 村岡花子の著書、翻訳書、生涯に関する資料、佐佐木信綱、柳原白蓮著書など周辺資料を紹介する。	平成26年9月4日(木) ～ 平成27年3月31日(火)
谷崎潤一郎の世界 谷崎潤一郎は「痴人の愛」「春琴抄」、山梨ともゆかりのある「細雪」などの名作を残した。秋の企画展「谷崎潤一郎展」にあわせ、著書、関連資料を紹介する。	平成26年9月26日(金) ～ 11月24日(月)
美味礼讃—作家の食卓— 無類の鰻好きの斎藤茂吉、永井荷風のショコラ・コーヒー・紅茶、幸田文の台所など、「食」にこだわった作家は多い。魅力的な「食」にまつわる文学作品の数々を紹介する。	平成27年2月20日(金) ～ 4月12日(日)

◇文学者の誕生日にちなんだ資料紹介

本県出身・ゆかりの文学者を身近に感じてもらうことを目的として、資料を紹介する。

展示名	展示期間
飯田龍太(7/10生まれ)	平成26年7月3日(木)～7月24日(木)
辻邦生(9/24生まれ)	平成26年9月11日(木)～10月2日(木)
山崎方代(11/1生まれ)	平成26年10月30日(木)～11月20日(木)
檀一雄(2/3生まれ)	平成27年1月24日(土)～2月12日(木)
井伏鱒二(2/15生まれ)	平成27年2月14日(土)～3月5日(木)

◇美術館特別展関連資料紹介

県立美術館特別展の開催にあわせ、関連資料を紹介する。美術館から文学館への誘客を図り、展示内容への理解・関心を深める機会とする。

展示名	展示期間
近代文学とミレー	平成26年7月18日(金)～8月31日(日)

◇書庫見学

職員が書庫内を案内し、収蔵資料、保管状況などを解説し、文学館の役割、閲覧室の利用方法の周知を図る。

第1回 平成26年 6月14日(土) 参加者 43名
 第2回 同 11月20日(木) 県民の日 参加者 30名
 午前・午後各1回

内容：書庫見学、画像情報システム端末・文献検索システム端末操作説明など

◇村岡花子展関連特設視聴コーナー(閲覧室)及び村岡花子映像上映(2階ロビー)

村岡花子展に関連し、村岡花子出演のラジオ番組音声やテレビ番組出演映像等を紹介し、文学者への理解を深め、利用の促進を図る。

平成26年4月12日(土)～6月29日(日)
 同 7月1日(火)～8月24日(日)

【閲覧室利用統計】

閲覧室利用状況(内訳)

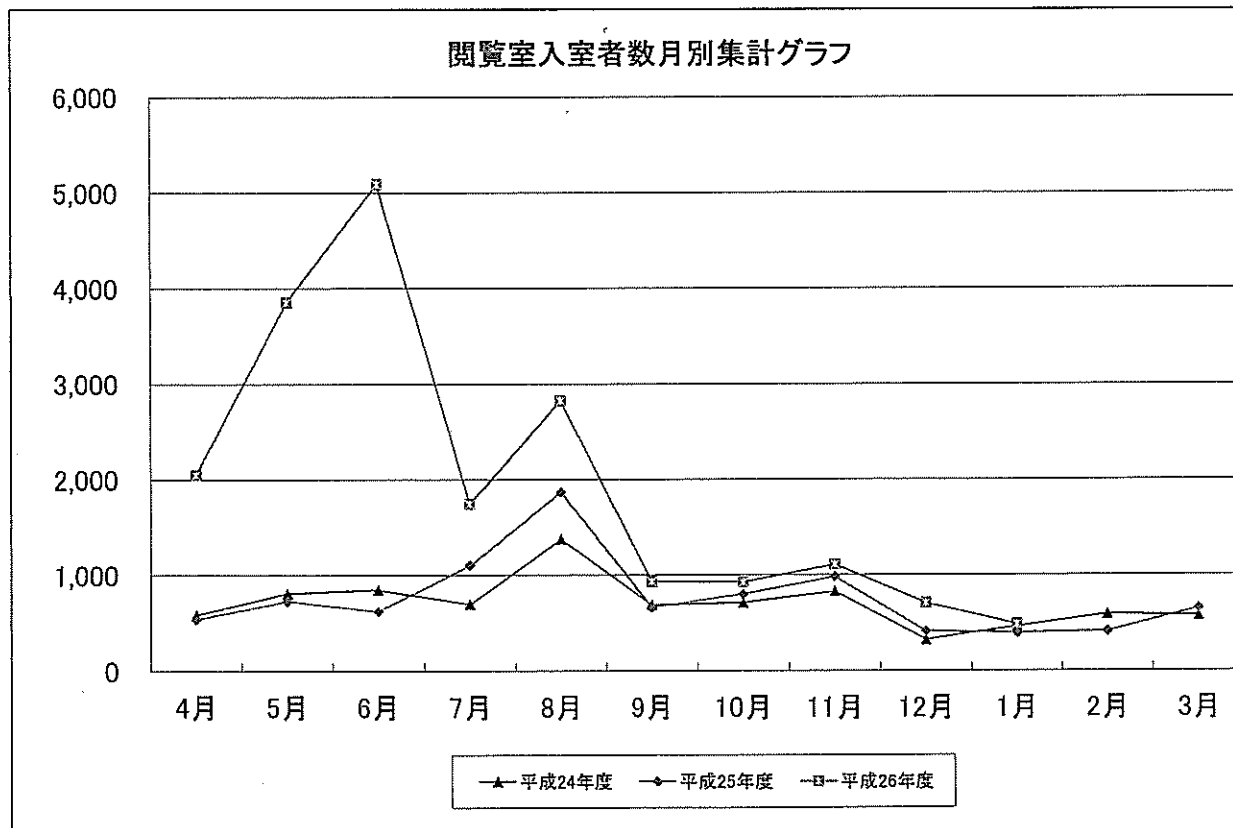
(H27.1.31現在)

	開館日数	入室者	閲覧カード発行数	閲覧者数	閲覧冊数	調査相談	電子式複写枚数	マイクロ複写枚数	画像検索回数	資料紹介冊数	HPアクセス件数
平成24年度	310	8,524	105	415	2,149	285	5,211	283	823	544	36,889
平成25年度	306	9,210	94	412	2,880	271	8,829	49	2,262	1,077	40,732
平成26年度	258	19,749	63	373	2,117	244	9,228	0	1,834	741	53,665

閲覧室入室者(月別)

単位:人 (H27.1.31現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均入室者数
平成24年度	589	814	851	700	1,379	689	712	831	326	465	593	575	8,524	27
平成25年度	543	734	627	1,106	1,872	665	802	985	415	393	414	654	9,210	30
平成26年度	2,052	3,860	5,094	1,746	2,827	935	927	1,111	710	487			19,749	77



調査相談(口頭・電話・手紙・FAX・メール)(月別)

単位:件 (H27.1.31現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均件数
平成24年度	15	26	33	28	38	22	31	30	10	15	14	23	285	1
平成25年度	19	32	37	20	25	26	21	34	12	16	16	13	271	1
平成26年度	20	29	18	28	25	20	32	37	22	13			244	1

複写枚数(電子式・マイクロ)(月別)

単位:枚 (H27.1.31現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均枚数
平成24年度	951	343	408	407	526	351	705	557	229	227	392	398	5,494	18
平成25年度	1,159	377	700	482	678	379	1,114	1,071	525	760	565	1,068	8,878	29
平成26年度	3,677	854	634	869	416	462	992	501	765	249			9,228	36

ホームページアクセス件数(月別)

単位:件 (H27.1.31現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均アクセス件数
平成24年度	2,938	3,240	3,048	3,057	3,230	2,904	3,383	3,566	1,995	2,795	3,797	2,936	36,889	101
平成25年度	2,774	3,088	3,661	4,628	5,172	3,157	3,756	3,231	2,344	2,720	2,823	3,378	40,732	112
平成26年度	6,586	8,541	8,124	5,308	8,154	3,888	3,430	3,891	2,046	3,697			53,665	175

平成27年度 閲覧室事業計画(案)

◇閲覧室資料紹介

所蔵資料を紹介・展示することにより、利用者が直接手に取って利用できる資料を増やし、開かれた文学館のイメージの定着と閲覧室の活性化を図る。

また、閲覧室の機能の理解と利用促進および資料収集の推進を図ることを目的とする。

展示名及び概要	展示期間
田中冬二の世界 特設展「田中冬二展 なつかしい日本の風景」に合わせ、自然や風物をうたった田中冬二の詩集、全集、雑誌など関連資料を紹介する。	平成27年4月25日(土) ～ 6月21日(日)
児童雑誌が描いた戦中・戦後 夏休みに合わせ、「少年倶楽部」など歴史ある児童雑誌の戦中・戦後の移り変わりや、戦後発刊された「赤とんぼ」など、貴重な子ども向け雑誌を紹介する。	平成27年7月18日(土) ～ 8月30日(日)
やまなしの文学碑散歩 雲母100年に寄せて 芸術の森公園内の飯田蛇笏・龍太の句碑をはじめ、各地に山梨の自然や風土を詠った文学碑がある。企画展「俳句百景 季節を生きる喜び」に合わせ、文学碑を案内する資料と句集などを紹介する。	平成27年9月18日(金) ～ 11月23日(月)
映像になった文学作品(仮称) これまで、数多くの文学作品が映画化、ドラマ化されている。文学碑を案内する関連資料山梨ゆかりの作家の作品を中心に映像化された小説と関連する雑誌記事や映画評論などを紹介する。	平成28年2月19日(金) ～ 4月12日(日)

◇文学者の誕生日にちなんだ資料紹介

本県出身・ゆかりの文学者を身近に感じてもらうことを目的として、資料を紹介する。

展 示 名	展 示 期 間
飯田蛇笏(4月26日生まれ)	平成27年4月24日(金)～5月8日(木)
山本周五郎(6月22日生まれ)	平成27年6月11日(木)～6月25日(木)
宮沢賢治(8月27日生まれ)	平成27年8月19日(水)～9月10日(木)
八木義徳(10月21日生まれ)	平成27年10月15日(木)～10月29日(木)
与謝野晶子(12月7日生まれ)	平成27年12月2日(水)～12月17日(木)
深沢七郎(1月29日生まれ)	平成28年1月22日(金)～2月2日(火)
中村星湖(2月11日生まれ)	平成28年2月5日(金)～2月19日(金)

その他、講座、講演会開催時に講師の著作の資料紹介を適宜行う。

◇書庫見学

職員が書庫内を案内し、収蔵資料、保管状況などを解説し、文学館の役割、閲覧室の利用方法の周知を図る。

第1回 平成27年 6月13日(土)

第2回 同 11月20日(金) 県民の日

午前・午後各1回

内容：書庫見学、画像情報システム端末・文献検索システム端末操作説明など

美術館、文学館及び芸術の森公園が目指す姿

- 県民が日常的に活用する施設であり、県民の誇りでもある施設
- 県内の賑わいを創出する旗艦として機能する施設

賑わい創出のプロセス

1

指定管理者活動トピックス 【1-1】関係各所と連携した広報活動

文学館の関係各所と積極的に連携をすることで、文学館の認知度拡大や展示会の賑わいを創出。また、新規連携先の獲得にも注力し、新たな広報展開を推進した。

2

指定管理者活動トピックス 【1-2】広報印刷物の改訂

文学館の情報をよりお客様に分かりやすく紹介するため、パンフレットを改訂。施設紹介や展示内容等の情報を各項目ごとのページに分類して提供したほか、観覧者の増加を狙い、展示室内の紹介を充実させた。

3

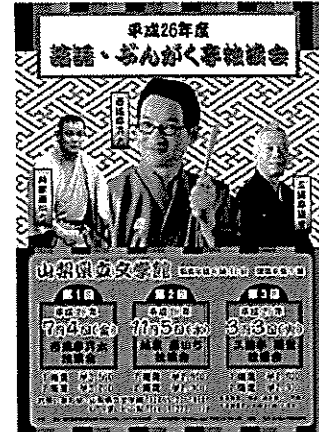
指定管理者活動トピックス 【1-3】次世代育成に向けた広報活動

平成26年4月から小・中・高生の観覧料が無料になったことを追い風に、教育普及担当者とも連携して、学校団体を誘致するためのダイレクトメールを発送。関東エリアの3,000校強に、文学館のみならず美術館を含めた誘致用チラシを発送した。

4

指定管理者活動トピックス
【1-4】広報イベントの開催

文学館の賑わいを創出するため広報イベントを展開。公園内の彫刻を紹介するアートツアー、芸術の森茶会(初釜も開催)から、指定管理者の独自事業「落語ぶんがく亭」まで、様々な魅力を提供することで施設のファン作りに繋げている。



5

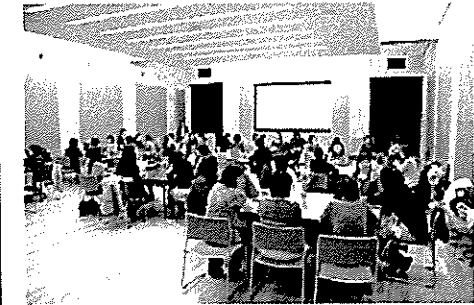
指定管理者活動トピックス
【2-1】ホスピタリティデザインの構築

MA(ミュージアムアテンダント)スタッフ全体研修
「看視のプロチームになる」を合言葉に、「対話」「専門知識」「安全」をキーワードに掲げ活動。全体研修はスタッフ自らが今の自分達にどのような研修が必要かを考え、企画している。

2014年12月 スタッフ全体研修
「マナー」「サービス」「ホスピタリティ」の違いを一人ひとりに考えてもらうことで、「ホスピタリティ」を発揮することの大切さをあらためて認識してもらう。



甲州弁のラジオ体操で
まずはリラックス



6

指定管理者活動トピックス
【3-1】基盤整備 バラ園の再整備

県より改善を促されてきた公園内のバラ園であるが、対策を検討する館内協議を経て、県協力会によるバラ園の管理ボランティアを新たに募集することに決定。今後、指定管理者と共に管理業務を行っていく体制を構築し、バラ園の再整備を進めていく。

今後のスケジュール

- ～2015年1月末：県協力会によるボランティア募集
- ～2015年3月末：バラ園リニューアル整備(指定管理)



周辺低木の除去



周辺高木の剪定

- 2015年4月～：両者によるバラ園の管理開始

7

指定管理者活動トピックス
【4】次年度の活動計画

「新しい魅力」「新しい楽しみ方」の発信

- 新規観覧者の獲得
 - ①「ファミリーミュージアム」の導入
 - …平日の午前中にお子様連れ優先時間帯を設けることでファミリー層にも気兼ねなく文学館を鑑賞いただく
 - ②新規広報イベントの実施
 - …従来実施している広報イベントに加えて、新規観覧者獲得を目的に、新規広報イベントを企画・開催する
- 関係各所と連携した広報展開
 - ①新規連携先の開拓と新たな広報展開
 - …地元企業、地元NPO団体との連携 など

8